

令和6年度東京都立小山台高等学校 全日制課程学校経営報告

校長 井上 隆

「敬愛・自主・力行」を教育目標とし、知的好奇心を高める授業、キャリア教育、班活動（部活動）、国際交流の推進といった教育活動を通じて、高い志をもって自らの進路を追求する生徒、学習と行事や班活動（部活動）の両立に全力で取り組む生徒、広い視野を持ち国際社会で活躍する生徒の育成に取り組みました。今年度の数値目標の達成割合を掲示しながら、教育活動を振り返ります。

①家庭学習の定着（自らが主体的に学ぶ家庭学習時間の増加）

項目	目標	令和6年度	令和5年度
1,2年家庭学習時間2時間以上	70%以上	40%	40%
1,2年家庭学習時間3時間以上	35%以上	10%	14%
1,2年夏期・冬期講習講座数	15講座以上	13講座	17講座

- ・学習手帳の活用をはじめ、様々な機会を通して家庭学習や隙間時間での学習習慣を身に付けるように指導しましたが、目標を達成できませんでした。学校評価アンケートの結果では、「生徒は自ら学習時間を確保して、主体的に学習しようと努めている」という項目で、生徒の肯定的回答73%（昨年度72%）と、学習へ取り組まなければならない意識の高い生徒が多いことが分かります。意識だけでなく、実際に家庭学習に取り組めるように、班活動や学校行事等と自宅学習との切り替えについて指導の徹底を今一度図ります。（評価C）
- ・休業中に3年生を対象とした講習を71講座開講しました。1,2年生を対象とした講習についても休業中に13講座を実施しました。アンケート項目「補習、長期休業中の講習など通常の授業以外の学習機会が充実している」について、生徒の肯定的な回答は68%（昨年度70%）と、約7割の肯定的な回答を得ました。今後も生徒のニーズをとらえた講習を計画していきます。（評価B）

②定点観測11月の外部模擬試験（総合成績における総合偏差値）

項目	目標	令和6年度	令和5年度
1年生 74以上	10名	8名	11名
68以上	60名	38名	55名
60以上	200名	181名	207名
2年生 74以上	10名	10名	6名
68以上	50名	41名	34名
60以上	180名	161名	148名

- ・2年生のトップ層について、令和5年度1年生の総合偏差値が74を超えた生徒が11名、この学年が2年生に進級して、74超が10名となり、高い学力を継続していることが推測できます。一方2年生に進級し、1年生の昨年と比較して偏差値60以上の生徒が20名減少していることから、卒業後の進路実現に向け、より計画的に学習に取り組めるように指導を継続して参ります。
- ・同一学年の偏差値を経年で比較した結果、総合偏差が68以上の生徒が1年生で38名（昨年度55名）、2年生で41名（昨年度34名）となっています。今後、模試分析会の充実を図り、分析結果を授業に反映し、各教科の弱点克服に一層取り組んで参ります。

③進路指導

項目	目標	令和6年度	令和5年度
大学入学共通テ国公立型受験者	200名以上	205名	191名
難関国公立大学合格者	15名（現役8名）	10名（現役6名）	11(6)名
国公立大学合格者	135名（現役105名）	99名（現役81名）	102(81)名
難関私立大合格者	180名（現役140名）	157名（現役120名）	167(128)名
3年夏期・冬期講習講座数	70講座以上	71講座	71講座

* 難関国公立大=東大・京大・東工大・一橋・国公立大医学部

* 難関私立大=早大・慶大・上智大・東京理科大

- ・1年生対象とした「社会人によるキャリアガイダンス」を昨年同様10講座開講しました。また、2年生では志望校調べ、志望校別グループによるワーキングを実施するなどして、進路意識を高めてまいりました。来年度からは2年生で大学訪問等を企画・実施する予定です。
- ・学校評価アンケートの結果では、「進路に関する情報が適切に提供されている」という項目で生徒の肯定的回答が87%（昨年度87%）、保護者84%（昨年度83%）となりました。進路部を中心に各学年において計画的に進路講話等を開催し、学習意欲を高めることができていると考えます。また、保護者へも保護者会や保護者対象の進路説明会を適時開催し、進路情報等を提供いたしました。（評価B）
- ・共通テストデータリサーチを基にした出願検討会や担任による進路面談など、3年生の出願指導を丁寧に行いました。大学合格実績は国公立大学合格者99名（現役81名）、難関国立大学及び国立医学部合格者10名（現役6名）でした。また、難関私立大学の延べ合格者は157名（現役120名）でした。（評価B）

④特別活動等

項目	目標	令和6年度	令和5年度
部活動加入率	100%以上	108%	102%
都ベスト8以上	5班以上	3班	3班
運動会、文化祭の来校者数	3000名	5,614名	2500名

- ・合唱コンクールは施設の都合により、保護者限定でライブ配信を行い好評でした。学校行事を実施した際に、インフルエンザ等の感染症が拡大し、クラス閉鎖を行いました。
- ・班活動については、ブラスバンド班が新人コンクールで金賞、ダンス班が全国大会、美術班が東京都で最優秀賞を2名が獲得するなど成果を上げました。
- ・今年度から東京都の次世代リーダー育成事業の募集人数が少なくなり、狭き門となる中1名（昨年度4名）が合格しました。小山台教育財団と連携した国際交流事業として、夏季休業中にドイツのカニジウス学校の生徒が本校を訪問し、生徒が企画した「小山台DAY」を開催しました。10月には都教委の学校間交流事業の予算を活用し、副校長をドイツに派遣し、カニジウス学校と姉妹校協定を締結し、財団とともに国際交流をさらに充実するための環境整備を行いました。（評価B）

⑤募集・広報活動

項目	目標	令和6年度	令和5年度
学力検査での受験倍率	1.7倍以上	1.46倍	1.25倍
説明会等への参加者	3,500名	4,791名	3,246名
技術講習会実施班活数	9班	5班	8班
ホームページの更新回数	180回以上	210回	146回

- ・感染症予防としての入場制限を廃止し、学校説明会と授業参観等への募集を行い、**4,791名**に来校いただきました。募集活動として、本校生徒の出身中学校に学校パンフレットを持参する「卒業生の中学校訪問」を再開しました。また、多くの教員が地域の中学校や高校説明会、塾などを訪問し、本校の特色をPRいたしました。
- ・入学選抜における学力に基づく選抜での倍率は1.46倍（昨年1.25倍）とやや増加しました。教員と生徒の協力による、積極的な募集活動の成果の表れと考えます。（評価B）
- ・ホームページを205回（昨年146回）更新し、班活動の報告を中心に学校情報提供の機会を増やしました。学校評価アンケートの結果では、「小山台高校の学校公式ホームページは、充実している」という項目で肯定的意見の生徒は64%（昨年61%）、保護者77%（昨年73%）となりました。引き続きホームページの更新・内容の充実を図るとともに、特に在校生の保護者の皆さんや中学生及びその保護者が求める情報発信に努めて参ります。（評価B）

⑥スマートスクール構想の実現と主体的、協働的な深い学びによる授業実践

項目	目標	令和6年度	令和5年度
・Wi-Fi環境を活用した一人一台端末をはじめ、ICT機器を活用した授業の実践	100%	68%	61%
・レクチャー型の授業の見直し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的な深い学びの視点からの授業実践	100%	82%	73%
・全教職員によるOffice365を活用した教育実践	100%	65%	71%
・定期考査採点・分析システムの活用推進	60%	95%	38%

※目標数値は、実践した教員/全教員

- ・教員の教育活動における各種 ICT 機器の活用については、Teams を活用した割合は全教員の 89%、リアテンドント（定期考査採点・分析システム）を活用した割合は 95%、生徒の一人一台端末の活用に取り組んだ割合は 80%となりました。（評価 B）
- ・学校評価アンケートの結果では、「小山台の教員は授業研究を行い、質の高い授業をしようとしている」という項目で、肯定的意見の生徒は 77%（昨年度 78%）となり、多くの生徒が授業の質に満足していると考えます。また、「興味関心が高まり、もっと学びたいような授業が行われている」への生徒の肯定的意見は 74%（昨年度 74%）となりました。しかしながら、授業内容について更に改善を求める意見（自由記述）も少なからずあり、主体的・協働的で深い学びの実現に向けて、各教科で授業改善に引き続き取り組んでまいります。（評価 B）

⑦ライフワーク・バランスの推進（3月5日時点）

項目	目標	令和6年度	令和5年度
・夏季休暇5日の取得	全教職員	全職員	全教職員
・年次有給休暇15日以上取得した職員	60%以上	70%	45%

- ・企画調整会議と職員会議のペーパーレス化を図り、電子起案 100%を達成しました。（評価 B）
- ・企画調整会議を中心とした学校経営は良好に機能しています。職員会議も含め会議の開催時間が1時間を越えることがありますので、会議日程や内容を計画的に調整し時間短縮に努めてまいります。（評価 C）
- ・都教委が示す「学校における働き方改革推進プラン」に基づき在校時間の短縮や校務の改善に取り組みました。全教職員が夏季休暇5日を取得し、年次有給休暇15日以上取得した教員は40名（昨年度28人）と増加しました。さらに男性教員が1年間の育児休業を取得しました。引き続き、超過勤務解消に取り組んで参ります。（評価 B）

⑧自律経営推進予算及び学校経営支援センターにおける一般需用費の執行率（3月5日）

項目	目標	令和6年度	令和5年度
・自律経営推進予算執行率	95%以上	99.9%	98%
・一般需用費のセンターでの執行率	60%以上	58.2%	58%

- ・自律経営推進予算について高い執行率を維持し、年度末までには残りの予算を執行する予定です。
- ・学校経営支援センターで各学校の購入物品をまとめて契約・購入することで、スケールメリットを生かし、より廉価な予算での購入を目指しています。今年度も6割の目標を概ね達成しました。

⑨その他（主に学校評価アンケートによる数値）

項目	目標	令和6年度	令和5年度
・生徒の学習指導への満足度（親身な指導）	80%以上	76%	76%
・教員は情報交換し、教科の連携が取れている。	65%以上	63%	61%
・生徒によるICT教育推進の満足度	65%以上	92%	56%
・生徒による本校入学への満足度	90%以上	89%	88%
・保護者による生徒の本校入学への満足度	95%以上	93%	92%

